



平成17年7月27日

各位

会社名 旭硝子株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 門松正宏
 (コード番号 5201 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR室長 川上真一
 (TEL. 03-3218-5509)

業績予想(連結・単独)の修正に関するお知らせ

平成17年度中間(平成17年1月1日~平成17年6月30日)及び平成17年度通期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)の業績予想について、平成17年5月11日に公表しました連結業績予想及び平成17年2月16日に公表しました単独業績予想を、下記の通り修正しますので、お知らせします。

記

1. 17年12月期中間連結業績予想数値の修正(平成17年1月1日~平成17年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月11日発表)	750,000	70,000	67,000	41,000
今回修正予想(B)	730,000	62,000	63,000	44,000
増減額(B-A)	20,000	8,000	4,000	3,000
増減率	2.7	11.4	6.0	7.3
前期(平成16年12月期中間実績)	715,114	65,666	64,651	59,463

2. 17年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月11日発表)	1,550,000	145,000	138,000	83,000
今回修正予想(B)	1,500,000	130,000	126,000	81,000
増減額(B-A)	50,000	15,000	12,000	2,000
増減率	3.2	10.3	8.7	2.4
前期(平成16年12月期実績)	1,475,726	139,403	135,688	78,287

3. 修正の理由(連結)

(1) 中間

電子・ディスプレイ事業は液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調でしたが、CRT用ガラスの販売低迷や価格下落に加え、携帯電話などに使用される中小型液晶ディスプレイの販売が低迷したことから、当初予想を下回る業績となる見込みです。ガラス事業は第1四半期にヨーロッパの板ガラス市況が厳冬により冷え込んだことの影響で、当初予想を若干下回る業績となる見込みです。化学事業はクロールアルカリ・ウレタン部門を中心に比較的堅調に推移したことから、当初予想を若干上回る業績となる見込みです。

なお、原燃材料の値上がりの影響もあり、この結果、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見通しです。

(2) 通期

電子・ディスプレイ事業において液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調に推移すると見込まれる一方で、CRT用ガラスの販売が上期に引き続き下期も低調となることに加え、原燃材料の値上がりが見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を下回る見通しです。

4. 17年12月期中間単独業績予想数値の修正(平成17年1月1日～平成17年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年2月16日発表)	270,000	16,000	20,000	13,000
今回修正予想(B)	270,000	20,000	33,000	26,000
増減額(B-A)	0	4,000	13,000	13,000
増減率	0.0	25.0	65.0	100.0
前期(平成16年12月期中間実績)	282,251	13,666	15,969	30,321

5. 17年12月期通期単独業績予想数値の修正(平成17年1月1日～平成17年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年2月16日発表)	560,000	35,000	39,000	25,000
今回修正予想(B)	560,000	38,000	50,000	36,000
増減額(B-A)	0	3,000	11,000	11,000
増減率	0.0	8.6	28.2	44.0
前期(平成16年12月期実績)	579,875	37,152	41,257	33,268

6. 修正の理由(単独)

(1) 中間

電子・ディスプレイ事業においてCRT用ガラスの販売低迷や価格下落があったものの、液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調であったことに加え、化学事業においてクロールアルカリ・ウレタン部門を中心に比較的堅調に推移したことなどから、営業利益は当初予想を上回る見込みです。また、営業利益が増加したことに加え、関係会社からの受取配当金が増加したことから、経常利益及び当期純利益も当初予想を上回る見通しです。

(2) 通期

電子・ディスプレイ事業においてCRT用ガラスの販売が上期に引き続き下期も低調となることを見込まれますが、液晶用ガラス基板やPDP用ガラス基板の販売が引き続き好調に推移すると見込まれることから、通期では当初予想を上回る見通しです。

(補足資料)

事業セグメント別業績見込み(連結)

平成17年12月期通期

(単位：億円)

事業 セグメント	売上高			営業利益		
	前回発表予想	今回発表予想	増減	前回発表予想	今回発表予想	増減
ガラス	7,400	7,400	0	510	480	30
電子・ディスプレイ	5,000	4,400	600	750	610	140
化学	2,950	2,950	0	170	190	20
その他	750	750	0	20	20	0
消去	600	500	100	-	-	-
合計	15,500	15,000	500	1,450	1,300	150

以 上